

6月定例会

対策の強化を

口蹄疫侵入を防止する為
24時間体制で消毒作業



橋野ポイント

第2回臨時会

☆平成22年度曾於市一般
会計補正予算(第2号)

(全会一致 可決)

今回の補正予算は、宮崎県の口蹄疫感染拡大に対する侵入防止対策と農家支援対策を図るもので、歳入の主なもの、緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費補助金3211万1千円一般寄附金100万円、及び財源調整のための財政調整基金繰入

第2回臨時会を5月28日開会、報告1件、承認案5件、口蹄疫に対する総合的な支援対策の強化と充実を求める意見書など審議・議決しました。

6月定例会は、6月14日に開会し、6月29日に閉会しました。定例会では、曾於市国民健康保険税条例の一部改正、平成22年度予算の補正に関するもの他、報告3件、諮問3件、議案20件、請願1件、陳情6件、国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書など発議6件を審議・議決しました。

金6785万8千円です。

歳出については、消毒ポイントの各リース料、物品購入等に係る畜産振興協議会補助金925万7千円、市内の牛・豚飼養農家に消毒剤を配布するための消耗品費860万円、消毒ポイントにおける作業を継続するための委託料3211万2千円、及び7月までの子牛せり市延期を想定した子牛育成支援対策事業見舞金5100万円です。

ストップ! ザ 口蹄疫

口蹄疫に対する総合的な支援



母智丘ポイント



高見堂ポイント



意見書

☆口蹄疫に対する総合的な支援対策の強化と充実に求める意見書

(全会一致 採択)

国内では10年ぶりとなる口蹄疫が宮崎県内で発生して以来、毎日のように疑似患者が発生し、終わりの見えない自主防疫対策の中で、畜産農家は心身ともに極限状態にあり、今後の畜産経営の先行きに不安を募らせるばかりです。また、地域経済、市民生活にも多大な影響が出ております。畜産農家がこれからも安心して生産・肥育を続けられ、経営安定が図られるとともに、日本の畜産が健全な発展を続けられるよう、防疫対策の強化、畜産経営安定対策の強化等を求めて衆参議院議長並びに関係大臣に提出しました。

6月定例会

予算

平成22年度曾於市一般会計補正予算(第3号)

(賛成多数 可決)

今回の補正は3億9412万6千円を追加し、歳入歳出212億7959万5千円となりました。

歳入は、地上デジタルテレビ難視聴地域解消のための辺地共聴施設整備事業補助金5250万3千円の国庫補助金、小規模特別養護老人ホーム建設に伴う介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金1億150万円の県補助金、財政調整基金繰入金578万7千円、地域振興住宅建設に伴う土木債1億2760万円です。

歳出は、辺地共聴施設整備事業補助金6434万5千円、申請件数増に伴う危険廃屋解体撤去補助金1000万円、小規模特別養護老人ホーム建設の地域

密着型サービス施設整備補助金1億150万円、畜産農家に対する無利子貸付金制度の畜産振興基金事業繰出金2000万円、地域振興住宅を新たに10戸建設する地域振興住宅建設事業1億9285万2千円が主なものです。

平成22年度曾於市介護保険特別会計補正予算

(全会一致 可決)

今回の補正(第1号)は8282万8千円追加し、総額を44億6227万8千円とする。

平成22年度曾於市公共下水道事業特別会計補正予算

(全会一致 可決)

今回の補正(第1号)は776万2千円追加し、総額を3億9292万円とする。

平成22年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算

(賛成多数 可決)

今回の補正(第1号)は6802万9千円減額し、総額を6億3001万4千円とする。

平成22年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算

(全会一致 可決)

今回の補正(第1号)は2万2千円追加し、総額を1億1828万5千円とする。

平成22年度曾於市老人保健特別会計補正予算

(全会一致 可決)

今回の補正(第1号)は61万3千円追加し、総額を223万9千円とする。

平成22年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算

(全会一致 可決)

今回の補正(第1号)は771万1千円減額し、総額を4億8399万1千円とする。

平成22年度曾於市水道事業会計補正予算

(全会一致 可決)

今回の補正(第1号)は277万2千円減額し、収益的支出の総額を5億2327万5千円とする。